

Next Stage



No. 10
R4・9
編集・発行
柏市教育委員会
指導課

タブレットは何時まで使っていいの？

インターネット上で書き込みをするときは、どんなことに気をつければいいの？



肖像権や著作権って何？

インターネットって便利だけど、どんな危険があるの？

GIGAスクール構想が進み、情報モラルの必要性が高まっています。先生方は、情報モラルに関する指導をどのようにされているでしょうか。

何か問題が起こったことに関し、一つ一つルールを作って対応する方法もあります。ただ、これから子ども達が生きていく変化の激しい社会では、その一つ一つにルールを作るだけでは間に合いません。また、そのルール自体も変化していく可能性があります。そのため、「子ども達自身が常に自分の意志で判断しながら行動する」そのような力が求められています。これからの社会を生きていく子ども達にとって、ICTの無い環境は考えられず、そのため情報モラルの習得は必要不可欠です。

柏市では情報モラルを育成するための教材として、「事例で学ぶネットモラル」を導入しており、また、どの段階でこういったモラルを身に付けていくべきかを示した、「柏市情報モラル育成プログラム」を作成しております。それらを活用した取り組みが、様々な学校で進んでいます。

一方で「なかなか時間を取ることが難しい…」 「どのように活用したらいいかわからない…」等の声をお聞きします。今号は、そんな先生方のヒントになるよう、柏市で実際に行われている活用方法をご紹介します。

事例で学ぶネットモラルとは

特徴

- ・ **ドラマ仕立てのアニメーション**からなる情報モラル指導教材
- ・ ネットワークが繋がる環境であればいつでも・どこでもできる
- ・ 豊富な事例（小学校64・中学校51）毎年更新
- ・ 指導案やワークシートなど**各種資料が準備**されている
- ・ 1つの動画は**5～10分と短時間**
- ・ **モラルeラーニング**（オンラインドリルのように課題を出すことができる）
- ・ **CBT機能**（簡単・気軽に子どもの情報モラル理解度をチェックすることができる）



活用方法

活用方法例①

【家庭学習の課題として】

○週に1回程度の課題や長期休業の課題として使用。

○視聴カードを使い、音読カードのように保護者の確認サインをもらう。

※視聴カードに感想などを書いて確認するといった活用もある。

※視聴カードは柏市GIGAWEBの「柏市情報モラル・リテラシー授業で使える教材」に掲載。

※情報モラルの習得は、積み重ねが大切です。視聴カードには各学年ごとに見るべき動画が割り当てられています。活用が進んでいる学校では、各学年に割り当てられている動画を1年間で計画的に見るなど、学校で統一がされていることが多いです。

⇒授業の時間を使わずに情報モラルの育成を図ることができる。

⇒保護者の情報モラルへの関心を高めることができる。



活用方法例②

【PTAや懇談会などの話題作りとして】

○懇談会やPTAの研修会等でアニメーションを見て、家庭での活用や情報モラルについて保護者と考えるきっかけとする。

○保護者用の資料も用意されている。

⇒保護者の情報モラルへの関心を高めることができる。

⇒学校と家庭での情報モラルに関する指導、端末使用のルール等の連携を図ることができる。



「事例で学ぶネットモラル」に関する詳しい使い方等のマニュアル資料は、柏市GIGAWEBの「柏市情報モラル・リテラシー」に掲載しております。また、各学校に配置されているIT教育支援アドバイザー、指導課情報担当に問い合わせることも可能です。